

3号機 PCV取水設備設置工事の対応状況について

2022年4月27日

TEPCO

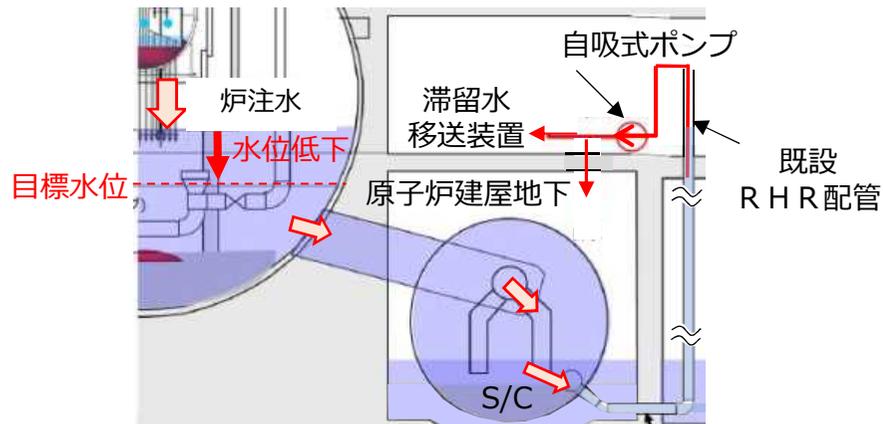
東京電力ホールディングス株式会社

1. 概要

- 現状，耐震性向上策としてPCV(S/C)水位低下を行うため，以下の通り段階的に水位を低下することを計画。
- ガイドパイプ設置等（ステップ2）に先立ち，現状水位（R/B1階床上約1m）をR/B1階床面以下に低下（ステップ1）する。
- ステップ1では，S/C下部に接続する既設RHR配管を用いて自吸式ポンプによる取水を計画。

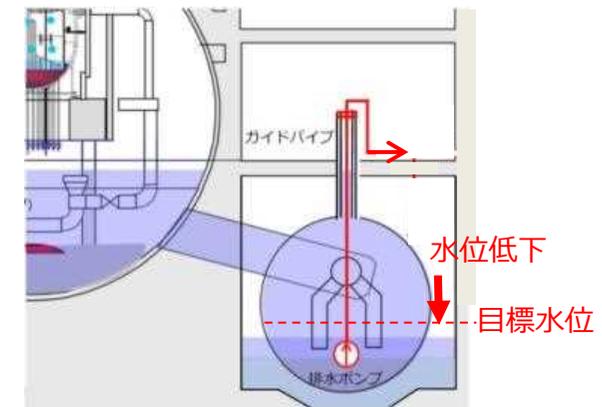
PCV：原子炉格納容器 S/C：圧力抑制室
R/B：原子炉建屋 RHR：残留熱除去系

ステップ1（目標水位：R/B1階床面以下）



既設配管を用いたS/C内包水の取水イメージ

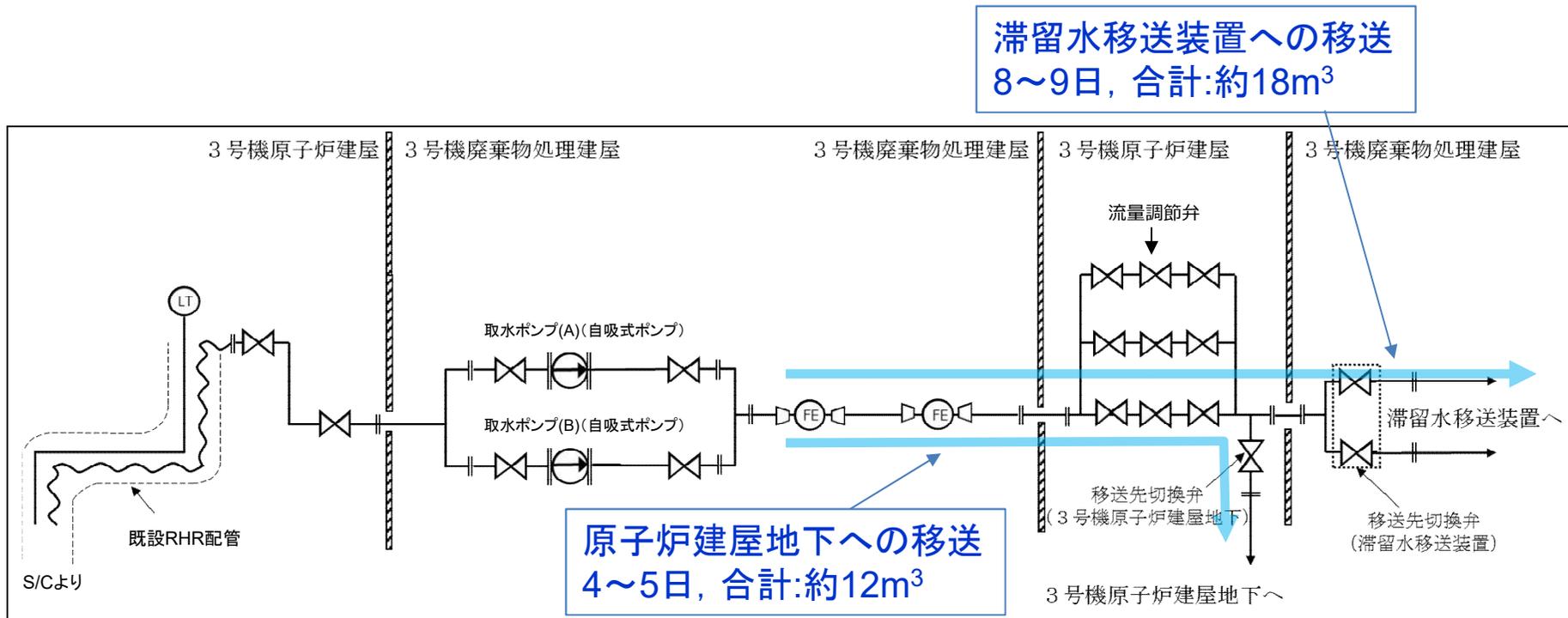
ステップ2（目標水位：S/C下部）



ガイドパイプによるPCV(S/C)からの取水イメージ

2. PCV取水設備 試運転の内容について

- PCV取水設備の設置は2021年10月から開始し、2022年3月末に完了。
- 3月28日から4月4日までろ過水による試験として、取水ポンプの運転確認及び流量調節弁の動作確認等を実施。
- 4月5日以降、既設RHR配管を經由してS/C保有水を取水し、以下内容の試運転を4月下旬まで実施予定。移送量は最大で合計30m³程度の見込み。
 - ・ 移送先である3号機R/B地下(トーラス室)及び滞留水移送装置への送水確認
 - ・ PCV取水設備の運転状態(PCV水位低下/水位維持等)に応じた動作確認/流量調整



3. 今後のスケジュール

- 使用前検査の系統試験を4月26日に受検し，5月下旬に終了証発行を想定。
その後，3号機原子炉注水停止試験に移行する計画。
- PCV取水設備の運用開始は，注水停止試験実施後に開始することを想定しているが，今後の対応状況等を踏まえ，調整を行う。

